

# **PRIMERGY** オプション製品

---

## システム構成図(留意事項編)

【2010年9月7日版】

## サーバ監視ソフト ServerView/ServerView Operations Manager & ServerView Agentsについて

サーバ監視ソフトServerView/ServerView Operations Manager & ServerView Agentsでは以下のような機能があります。

(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003)

項目	ServerView/ServerView Operations Manager & ServerView Agents
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 電源投入/切断スケジュール(一部未サポートモデルあり) パフォーマンス監視 (CPU負荷率、メモリ利用率など)
アラート機能 (異常通知方法)	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス(監視対象サーバ上、管理サーバ上) ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
リモートサービス機能のサポート	○
使用メモリ	16~32MB

※サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログインしていないと表示されません。  
ログインしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することができます。  
また、イベントログにて発生を確認することができます。

(Red Hat Enterprise Linux/VMware)

項目	Linuxサーバ上	監視用Windows端末
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 * Web Extension/ ServerView S2使用による	サーバ状態監視 電源投入/切断 スケジュール運転設定 * モデルによる パフォーマンス監視 (CPU負荷率、メモリ利用率など) ※しきい値マネージャは使用できません。
アラート機能 (異常通知方法)	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
リモートサービス機能のサポート	○	—
使用メモリ	32MB以上	16~32MB

\*LinuxサーバよりSNMPトラップを受信しての処理となる

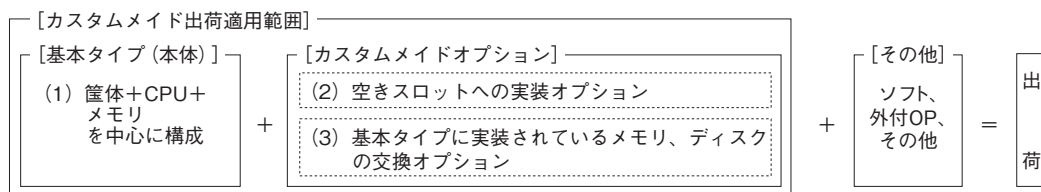
## カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、ハードウェアの標準構成をメモリ/ディスク等のオプションごとにお客様の仕様に合わせて追加/変更し、本体に実装して出荷することのできる形態です。

カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

### 1. カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について

カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「基本タイプ(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。  
それ以外の製品に関しては、従来通り、製品単位で出荷されます。



### [カスタムメイド適用製品一覧]

#### (1) 基本タイプ(本体)

TX100 S2/TX120 S2/TX150 S7/TX200 S6/TX300 S6/RX100 S6/RX200 S6/RX300 S6/RX600 S5/BX620 S6/BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2/BX960 S1 の全タイプが対象となります。(TX300FT S5/TX300HA S5/オールインワンタイプを除く。)

#### (2) カスタムメイドオプション: 空きスロットへの実装オプション

PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注: FMVとの共通製品等を除く。)

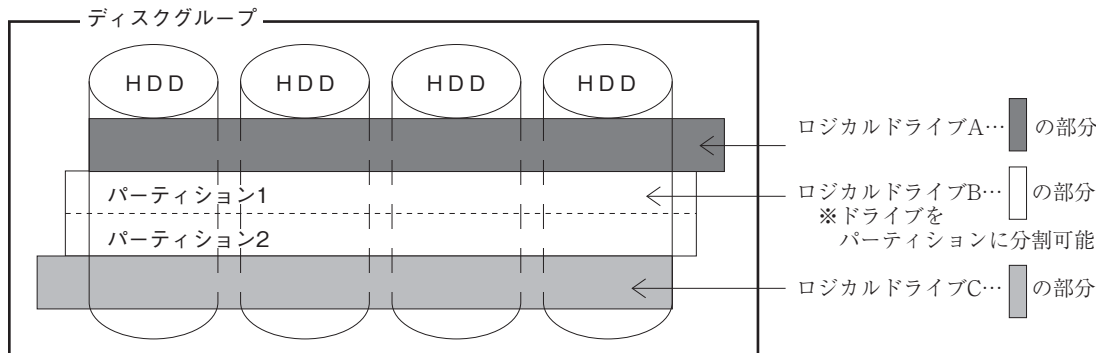
### 2. ディスクレスタイプにおけるカスタムメイド出荷について

ディスクレスタイプでOSをインストールする際には、予定外の装置に間違っしてOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先の内蔵HDD/SSD以外のオプション装置(内蔵HDD/SSD、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。カスタムメイド手配時にはご注意ください。

## 内蔵ストレージ関連事項

## ディスクアレイ構成の考え方

- ・ディスクグループ・・・1つのRAIDを構成する物理的なHDDの集まり。
- ・ロジカルドライブ・・・OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・パーティション・・・OSで設定するロジカルドライブを分割したアクセス論理単位。



## &lt;構成規則について&gt;

- (1) ディスクグループは、必ず同じ型名の内蔵ストレージで構成してください。
- (2) ブートロジカルドライブのサイズは、2TB未満に設定してください。  
ロジカルドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
- (3) 1つのフィジカルパックを構成する内蔵ストレージの台数は、以下のとおりです。

・RAID0	(性能向上のために、データを複数ドライブへ分割して書込む方式)	— 1~32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の総和]
・RAID1	(信頼性向上のために、ドライブを二重化し同一データを書込む方式)	— 2台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID1E	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書込む方式)	— 4~32台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID1+0	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書込む方式)	— 4~32台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID5	(信頼性向上のために、データを分割しパリティを加えて書込む方式)	— 3~32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-1)台分]
・RAID5+0	(信頼性向上のために、RAID5のデータを分割(RAID0)し複数ドライブに書き込む)	— 6~256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID5構成のドライブ台数-1)×ストライピング数]
・RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し2つのパリティを加えて書込む方式)	— 3~32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-2)台分]
・RAID6+0	(信頼性向上のために、RAID6のデータを分割(RAID0)し複数ドライブに書き込む)	— 6~256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID6構成のドライブ台数-2)×ストライピング数]

- (4) 1つのディスクグループを複数のロジカルドライブに分割した場合の各ロジカルドライブのRAIDレベルは、同じものしか設定できません
- (5) アレイコントローラの種類によっては、1つのアレイコントローラで複数のディスクグループを設定することが可能です。  
但し、内蔵ストレージは以下の条件を満たす必要があります。  
・ディスクグループは同型名の内蔵ストレージで構成してください。  
・複数のディスクグループを同容量の内蔵ストレージで構成する場合は、すべて同型名の内蔵ストレージで構成してください。
- (6) 1つのアレイコントローラで複数の異なるRAIDレベルの設定が可能です。  
但し、以下の条件を満たす必要があります。  
・同一ディスクグループ内のロジカルドライブは同一のRAIDレベルとする必要があります。  
・1つのディスクグループ内には複数のロジカルドライブが作成できます。(最大8個)
- (7) ホットスペアディスクはディスクグループ中に接続されている同型名の内蔵ストレージで設定してください。  
異なる内蔵ストレージを使用した複数のディスクグループが存在する場合は、各々のディスクグループに対して、同型名のホットスペアを最低1台設定する必要があります。

ハードディスクキャビネット/SASアレイコントローラカード/SCSIカード/SASカードの注意事項

- ハードディスクキャビネットについて  
OSは必ずサーバ本体内部ストレージにインストールする必要があります。
- SASアレイコントローラカード[TX300 S6/RX200 S6(2.5インチx8モデル)/RX300 S6/RX600 S5標準搭載]について
  - ①サーバ本体に搭載した1台の内蔵ストレージに接続するカードは1枚です。
  - ②RAID0/1において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。  
(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/のみサポート)
- オンボードSASコントローラ[BX920 S2/BX620 S6標準搭載]について
  - ①オンボードSASコントローラに接続可能なストレージはサーバ本体内部ストレージのみです。
  - ②オンボードSASコントローラでRAIDを構成する場合は、同容量/同回転数の内蔵ストレージ2台のみ接続可能です。
  - ③オンボードSASコントローラで作成できるロジカルドライブは1つのみです。
- オンボードSATAコントローラ[BX960 S1/BX924 S2/BX922 S2/TX100 S1/TX100 S2/TX150 S7(3.5インチモデル)/TX200 S6(3.5インチモデル)/RX100 S6(3.5インチモデル)/RX200 S6(2.5インチx6モデル(SATA))標準搭載]について
  - ①オンボードSATAコントローラに接続可能なストレージは内蔵ストレージのみです。
  - ②オンボードSATAコントローラでRAIDを構成する場合は、RAID1を2セットまで構成可能です。(BX922 S2/BX960 S1は、RAID1を1セットまで構成可能です。)  
(TX100 S1/TX150 S7(3.5インチモデル)/TX200 S5(SATAモデル)/RX100 S6(3.5インチモデル)はRAID1+0を1セットも構成可能です。)
- SASコントローラカード[TX120 S2/TX150 S7(2.5インチモデル)/TX200 S6(2.5インチモデル)/RX100 S6(2.5インチモデル)/RX200 S6(2.5インチx6モデル(SAS))標準搭載/PG-254BC/PG-254B]
  - ①接続可能なストレージは、サーバ本体内部ストレージ4台までです。
  - ②RAIDを構成する場合は、内蔵ストレージ2台までです。
  - ③SASコントローラカードで作成できるロジカルドライブは1つのみです。
- SASアレイコントローラカード[PG-248L1/PG-248LC/PG-248L/PG-248L2/PG-248L3/PG-248L5/PG-248B3/PG-248BC1/PG-248B5/PG-248C6/PG-248C8/PG-248J1/PG-248JC/PG-248JC1/PG-248J/PG-248J3/PG-248J4/PG-248J5/PG-248JL/PG-248H1/PG-248HC/PG-248H2/PG-248H/PG-248H3/PG-248HC3/PG-248H5/PG-248HL]について
  - ①サーバ本体に搭載した1台の内蔵ストレージに接続するカードは1枚です。
  - ②RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。  
(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
- SASアレイコントローラカード[PG-248K/PG-248KL/PG-248K3/PG-248N3/PG-248NL]について
  - ①ETERNUS JX40接続用のカードです。
  - ②RAID0/1において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。  
(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
  - ③1枚のカードでETERNUS JX40を2台まで接続可能です。
- SASアレイコントローラカード[PGB248H2/PGB248M/PGB248J2/PGB248C7]
  - ①PRIMERGY SX940 S1 ストレージブレード接続用カードです。
  - ②RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。  
(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
- SASアレイコントローラカード[PGB248L2]について
  - ①PRIMERGY SX940 S1 ストレージブレード接続用カードです。
  - ②RAID0/1において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。  
(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
- 消耗品の扱いについて  
以下のアレイコントローラに搭載されているバッテリーは消耗品となります。  
寿命の際は、お客様による手配交換となりますのでご注意ください。  
※本寿命は温度環境が25℃の場合であり、温度環境によって寿命は変動いたします。  
※RAS支援サービスによる事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。

消耗品(バッテリー)搭載アレイコントローラカード		
	型名	寿命
SASアレイコントローラカード	PG-248J / PG-248J1 / PG-248J3 / PG-248J4 / PG-248J5 / PG-248JC PG-248JC1 / PG-248JL / PG-248G3L / PG-248G5 / PG-248GL / PG-248C6 PG-248C8 / PG-248KL / PG-248K3	約3年
	PGB248J / PGB248J1 / PGB248J2 / PGB248J4 / PGB248J5 / PGB248JC PGB248G3L / PGB248G5 / PGB248GL / PGB248C6 PGB248C7 / PGB248C8 / PGB248K3	
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード) [PRIMERGY SX940 S1 ストレージブレード用オプション]	PGBBBU6	



交換用バッテリー	
品名	型名
バッテリーバックアップユニット	PG-BBU5

## システム構成図留意事項

## ●SCSIカード[PG-2281/PG-2281L/PG-2283/PG-2283L]について

- ①本カード1枚に外付SCSI装置と内蔵SCSI装置を同時に接続することはできません。  
その際は、カードを分けて接続してください。

## ●SASカード[PG-228B/PG-228BL/PG-224B]について

- ①本カード1枚に外付SAS装置と内蔵SAS装置を同時に接続することはできません。  
その際は、カードを分けて接続してください。(PG-228B/BLは外付SAS装置用、PG-224Bは内蔵SAS装置用です。)

## 接続可能なハードディスクキャビネット数について

ハードディスクキャビネット 型名	TX100	TX120	TX150	TX200	TX300	RX100	RX200	RX300	RX600	BX620	BX920	BX922	BX924	BX960
	S1/S2	S2	S7	S6	S6	S6	S6	S6	S5	S6	S2	S2	S2	S1
ETERNUS JX40 (2.5インチSAS)	PG-R3DC1	-	-	6(*1)	6(*1)	6(*1)	6(*1)	6(*1)	6(*1)	12(*1)	-	-	-	-

\*1)カスケード接続により、一組み最大3台のETERNUS JX40と接続可能

## メモリ関連事項

## OSにおける最大CPU数/使用可能メモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意願います。使用可能メモリ容量は以下の通りです。  
(搭載可能なメモリ容量およびサポート OSは機種により異なります。)

OS	最大CPU数(*1)	使用可能メモリ容量
Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit)	(~4)	32GB (*4)
Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64-bit)	(~8)	2TB
Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit)	(~64)	2TB
Windows® Web Server 2008 R2 (64-bit)	(~4)	32GB
Windows Server® 2008 R2 Foundation	(~1)	8GB (*3)
Windows Server® 2008 Standard (32-bit)	(~4)	4GB (*2) (*4)
Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)	(~8)	64GB
Windows® Web Server 2008 (32-bit)	(~4)	4GB
Windows Server® 2008 Standard (64-bit)	(~4)	32GB (*4)
Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)	(~8)	2TB
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	(~8)	2TB
Windows® Web Server 2008 (64-bit)	(~4)	32GB
Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	(~4)	4GB (*2) (*4)
Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	(~8)	64GB (*5)
Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	(~4)	32GB (*4)
Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	(~8)	1TB / 2TB (*6)
Windows Server® 2003, Standard Edition	(~4)	4GB
Windows Server® 2003, Enterprise Edition (SP1以降)	(~8)	64GB (*5)
Windows Server 2003, Web Edition	(~2)	2GB
Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	(~4)	32GB
Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	(~8)	1TB / 2TB (*6)
Windows® Small Business Server 2008 Standard	(~4)	32GB
Windows® Small Business Server 2008 Premium	(~4)	32GB
Windows® Small Business Server 2003 R2, Standard Edition	(~2)	4GB
Windows® Small Business Server 2003 Standard Edition	(~2)	4GB
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	~16(~2)	12GB (*7)
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	~24	12GB
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	~24	12GB (*7)
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	~16(~2)	16GB
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	~24	192GB
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	~64	256GB
VMware® Infrastructure 3 Version 3.5	32	144GB
VMware vSphere™ 4	64	512GB (*8)

(\*1) ハイパースレッディング・テクノロジー機能による論理CPU、デュアルコアCPU、クアッドコアCPU、6コアCPU/8コアCPUのCPUコアをCPUの数としてカウントします。  
( )内は物理CPU数です。

(\*2) Windows Server® 2008 Standard (32-bit)/ Windows Server® 2003 R2, Standard Editionがインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは4GBまでです。

(\*3) Windows Server® 2008 R2 Foundationがインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は8GBまでです。

(\*4) インストールされているOSがなく、Windows Server® 2008 R2 Standard/Windows Server® 2008 Standard/ Windows Server® 2003 R2, Standard Edition/ Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Editionがインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは32GBまでです。

(\*5) PRIMERGY RX600 S4においては、62GBまでのサポートとなります。

(\*6) SP2適用時は、2TBまで使用可能です。

(\*7) Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)/ Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)がインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは12GBまでです。

(\*8) 256GBを超える物理メモリを使用する場合は、Enterprise Plusエディションが必要です。

バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

■ PRIMERGY用バックアップ装置 / OS標準バックアップユーティリティ対応表  
PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とOS標準バックアップユーティリティの対応について記します。

バックアップ装置	適用OS		Windows系										Linux系		
	装置型名	規格	Win2003 R2 (※1)	Win2003 R2 x64 (※2)	WEB2003 (※3)	Win2008(32-bit) (※4)	Win2008(64-bit) (※5)	SBS2008 (※6)	WEB2008 (※7)	Win2008 R2(64-bit) (※8)	Win2008 R2 FD (※9)	WEB2008 R2 (※10)	AS (v4 for x86) ES (v4 for x86)	AS (v4 for EM64T) ES (v4 for EM64T)	5(for x86) 5(for Intel64)
			NTBackup	WindowsServer Backup										Linux Command	
RDX装置	PG-RD1021	RDX	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
	PG-RD1022		○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
	PG-RD1024		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	PG-RD1026		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	PG-RD1027		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	PG-RD102D2		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
LTO装置	PG-LT203	LTO Ultrium2	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	PGBLT203C		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	PG-LT302	LTO Ultrium3	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	PGBLT302C1		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	PG-LT303		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	PGBLT303C		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	PG-LT401	LTO Ultrium4	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	PGBLT401C		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	PG-LT402		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	PGBLT402C		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
PG-LT501	LTO Ultrium5	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		
PGBLT501C		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		
DAT装置	PG-DT601	DAT160	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	PG-DT602		●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
	PG-DT603		×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (※1)	
	PG-DT501	DAT72	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PG-DT504	DAT72	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PG-DT5043		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PG-DT5045		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PG-DT5046		●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	PG-DT5048		●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	PG-DT5049		●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
PG-DT504D2	●		●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	

- (※1) 適用OS欄のWin2003 R2は、Windows Server® 2003, R2 Standard Edition / Windows Server® 2003, R2 Enterprise Editionを示す。
- (※2) 適用OS欄のWin2003 R2 x64は、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition / Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Editionを示す。
- (※3) 適用OS欄のWEB2003は、Windows Server® 2003, Web Editionを示す。
- (※4) 適用OS欄のWin2008(32-bit)は、Windows Server® 2008, Standard (32-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise (32-bit)を示す。
- (※5) 適用OS欄のWin2008(64-bit)は、Windows Server® 2008, Standard (64-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise (64-bit) / Windows Server® 2008, Datacenter (64-bit)を示す。
- (※6) 適用OS欄のSBS2008は、Windows® Small Business Server 2008, Standard / Windows® Small Business Server 2008, Premiumを示す。
- (※7) 適用OS欄のWEB2008は、Windows® Web Server 2008 (32-bit) / Windows® Web Server 2008 (64-bit)を示す。
- (※8) 適用OS欄のWin2008 R2(64-bit)は、Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit)を示す。
- (※9) 適用OS欄のWin2008 R2 FDは、Windows Server® 2008 R2 Foundation (64-bit)を示す。
- (※10) 適用OS欄のWEB2008 R2は、Windows® Web Server 2008 R2 (64-bit)を示す。

凡例 ○:対応 ●:対応(但し、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)  
×:未対応

留意事項

- ※OS標準のバックアップユーティリティを使用した場合、バックアップ装置の性能に十分に引き出せないことがあります。
- 性能を重視する場合は、PRIMERGY用バックアップ装置をサポートするバックアップソフトウェアをご使用になることをお勧め致します。
- ※ Windows Server® 2008 をご使用になる場合は、別途バックアップソフトウェアをご購入ください。
- ※ Linuxコマンドをご使用になる場合は、tar, cpio, ddをご使用ください。

(※1) : Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)を除く

システム構成図留意事項

■ PRIMERGY用バックアップ装置 / ARCserve for Windows 対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とARCserve for Windowsの対応について記します。  
尚、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とARCserve for Windowsの最新情報や使用上の注意につきましては、下記をご参照ください。  
<http://software.fujitsu.com/jp/arcserve/>

バックアップ装置	適用OS		Win2003/ Win2003 x64 (※1)(※2)		Win2003 R2/ Win2003 R2 x64 (※3)(※4)		Win2008(32-bit)/ Win2008(64-bit) (※5)(※6)		Win2008 FD (※7)		Win2008 R2 (64-bit) (※8)		Win2008 R2 FD (※9)		WEB2008 R2 (※10)	
	装置名	規格	ARCserve 版数		ARCserve 版数		ARCserve 版数		ARCserve 版数		ARCserve 版数		ARCserve 版数		ARCserve 版数	
			CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15
RDX 装置	PG-RD1021	RDX	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PG-RD1022		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PG-RD1024		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PG-RD1026		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PG-RD1027		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PG-RD102D2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
LTO 装置	PG-LT203	LTO Ultrium2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PGBLT203C		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PG-LT302	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PGBLT302C1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PG-LT303		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PGBLT303C		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PG-LT401	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PGBLT401C		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PG-LT402		x	○	x	○	x	○	x	○	x	○	x	○	x	○
	PGBLT402C		x	○	x	○	x	○	x	○	x	○	x	○	x	○
	PG-LT501	LTO Ultrium5	x	○	x	○	x	○	x	○	x	○	x	○	x	○
	PGBLT501C		x	○	x	○	x	○	x	○	x	○	x	○	x	○
DAT 装置	PG-DT601	DAT160	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	x	●
	PG-DT602		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	x	●
	PG-DT603		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	x	●
	PG-DT501	DAT72	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○
	PG-DT504		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	x	●
	PG-DT5043		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	x	●
	PG-DT5045	DAT72	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	x	●
	PG-DT5046		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	x	●
	PG-DT5048		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	x	●
	PG-DT5049	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	x	●
	PG-DT504D2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	x	●

(※1) 適用OS欄の Win2003 は、Windows Server® 2003, Standard Edition / Windows Server® 2003, Enterprise Edition を示す。  
(※2) 適用OS欄の Win2003 x64 は、Windows Server® 2003, Standard x64 Edition / Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition を示す。  
(※3) 適用OS欄の Win2003 R2 は、Windows Server® 2003, R2 Standard Edition / Windows Server® 2003, R2 Enterprise Edition を示す。  
(※4) 適用OS欄の Win2003 R2 x64 は、Windows Server® 2003, R2 Standard x64 Edition / Windows Server® 2003, R2 Enterprise x64 Edition を示す。  
(※5) 適用OS欄の Win2008(32-bit) は、Windows Server® 2008, Standard (32-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise (32-bit) を示す。  
(※6) 適用OS欄の Win2008(64-bit) は、Windows Server® 2008, Standard (64-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise (64-bit) / Windows Server® 2008, Datacenter (64-bit) を示す。  
(※7) 適用OS欄の Win2008 FD は、Windows Server® 2008 Foundation を示す。  
(※8) 適用OS欄の Win2008 R2(64-bit) は、Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit) を示す。  
(※9) 適用OS欄の Win2008 R2 FD は、Windows Server® 2008 R2 Foundation (64-bit) を示す。  
(※10) 適用OS欄の WEB2008 R2 は、Windows® Web Server 2008 R2 (64-bit) を示す。

凡例 ○ : 対応  
x : 未対応  
● : 対応(但し、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)  
(1) : Windows Server® 2008, Datacenter (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit) を除く

■ PRIMERGY用バックアップ装置 / NetVault for Windows 対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault for Windowsの対応について記します。  
 尚、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault for Windowsの最新情報や使用上の注意につきましては、下記をご参照ください。  
<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>

バックアップ装置		適用OS		Win2003 R2 (※1)		Win2003 R2 x64 (※2)		Win2008(32-bit) (※3)		Win2008(64-bit) (※4)		Win2008 R2 (64-bit) (※5)		Win2008 R2 FD (※6)		
		装置型名	規格	NetVault 版数		NetVault 版数		NetVault 版数		NetVault 版数		NetVault 版数		NetVault 版数		
				v8.2	v8.5	v8.2	v8.5	v8.2	v8.5	v8.2	v8.5	v8.2	v8.5	v8.2	v8.5	
RDX 装置	PG-RD1021	RDX	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	PG-RD1022		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	PG-RD1024		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	PG-RD1026		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	PG-RD1027		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	PG-RD102D2		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
LTO 装置	PG-LT203	LTO Ultrium2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
	PGBLT203C		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	-	
	PG-LT302	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
	PGBLT302C1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	-	
	PG-LT303		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
	PGBLT303C		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	-	
	PG-LT401	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
	PGBLT401C		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	-	
	PG-LT402		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
	PGBLT402C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
PG-LT501	LTO Ultrium5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○		
PGBLT501C		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○		
DAT 装置	PG-DT601	DAT160	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	-	
	PG-DT602		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
	PG-DT603		-	-	○	○	-	-	○	○	○	×	○	-	-	
	PG-DT501	DAT72	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
	PG-DT504	DAT72	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
	PG-DT5043		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
	PG-DT5045		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	-	
	PG-DT5046		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	-	
	PG-DT5048		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	-	
	PGBDT5049		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	-	
PG-DT504D2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	-			

(※1) 適用OS欄の Win2003 R2 は、Windows Server® 2003, R2 Standard Edition / Windows Server® 2003, R2 Enterprise Edition を示す。  
 (※2) 適用OS欄の Win2003 R2 x64 は、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition / Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition を示す。  
 (※3) 適用OS欄の Win2008(32-bit) は、Windows Server® 2008, Standard (32-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise (32-bit) を示す。  
 (※4) 適用OS欄の Win2008(64-bit) は、Windows Server® 2008, Standard (64-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise (64-bit) / Windows Server® 2008, Datacenter (64-bit)を示す。  
 (※5) 適用OS欄の Win2008 R2(64-bit) は、Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit) を示す。  
 (※6) 適用OS欄の Win2008 R2 FD は、Windows Server® 2008 R2 Foundation (64-bit) を示す。

凡例 ○ : 対応  
 × : 未対応  
 - : OS組合せなし



### PRIMERGY用バックアップ装置/ Backup Exec for Windows 対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置と Backup Exec for Windows の対応について記します。  
尚、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とBackup Exec for Windows の最新情報や使用上の注意につきましては、下記  
<http://software.fujitsu.com/jp/symantec/protection/backupexec.html>

バックアップ装置		適用OS		Win2003 R2 (※1)	Win2003 R2 x64 (※2)	Win2008(32-bit) (※3)	Win2008(64-bit) (※4)	Win2008 R2 (64-bit) (※5)
		装置型名	規格	Backup Exec 2010	Backup Exec 2010	Backup Exec 2010	Backup Exec 2010	Backup Exec 2010
RDX 装置	PG-RD1021	RDX		○	○	○	○	○
	PG-RD1022		○	○	○	○	○	
	PG-RD1024		○	○	○	○	○	
	PG-RD1026		○	○	○	○	○	
	PG-RD1027		○	○	○	○	○	
	PG-RD102D2		○	○	○	○	○	
LTO 装置	PG-LT203	LTO Ultrium2		×	×	×	×	×
	PGBLT203C		×	×	×	×	×	
	PG-LT302	LTO Ultrium3		×	×	×	×	×
	PGBLT302C1		×	×	×	×	×	
	PG-LT303		○	○	○	○	○	
	PGBLT303C		○	○	○	○	○	
	PG-LT401	LTO Ultrium4		○	○	○	○	○
	PGBLT401C		○	○	○	○	○	
	PG-LT402		○	○	○	○	○	
	PGBLT402C		○	○	○	○	○	
PG-LT501	LTO Ultrium5		△	△	△	○	△	
PGBLT501C		△	△	△	○	△		
DAT 装置	PG-DT601	DAT160		○	○	○	○	○
	PG-DT602		○	○	○	○	○	
	PG-DT603		○	○	○	○	○	
	PG-DT501	DAT72		×	×	×	×	×
	PG-DT504	DAT72		×	×	×	×	×
	PG-DT5043		×	×	×	×	×	
	PG-DT5045		×	×	×	×	×	
	PG-DT5046		×	×	×	×	×	
	PG-DT5048		×	×	×	×	×	
	PG-DT5049		×	×	×	×	×	
PG-DT504D2	×		×	×	×	×		

(※1) 適用OS欄の Win2003 R2 は、Windows Server® 2003, R2 Standard Edition / Windows Server® 2003, R2 Enterprise Edition を示す。

(※2) 適用OS欄の Win2003 R2 x64 は、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition / Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition を示す。

(※3) 適用OS欄の Win2008(32-bit) は、Windows Server® 2008, Standard (32-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise (32-bit) を示す。

(※4) 適用OS欄の Win2008(64-bit) は、Windows Server® 2008, Standard (64-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise (64-bit) / Windows Server® 2008, Datacenter (64-bit) を示す。

(※5) 適用OS欄の Win2008 R2(64-bit) は、Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit) を示す。

凡例 ○ : 対応  
x : 未対応  
△ : 対応(テープをまたがるバックアップは未サポート)

■ PRIMERGY用バックアップ装置 / NetVault for Linux 対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault for Linux の対応について記します。  
 尚、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置と NetVault for Linux の最新情報や使用上の注意につきましては、下記をご参照ください。  
<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>

バックアップ装置		適用OS	Red Hat Enterprise Linux								
			AS (v.4 for x86) ES (v.4 for x86)		AS (v.4 for EM64T)		5(for x86)		5(for Intel64)		
			NetVault 8.2	NetVault 8.5	NetVault 8.2	NetVault 8.5	NetVault 8.2	NetVault 8.5	NetVault 8.2	NetVault 8.5	
装置型名		規格									
RDX 装置	PG-RD1021	RDX	×	×	×	×	×	×	×	×	
	PG-RD1022		×	×	×	×	×	×	×	×	
	PG-RD1024		×	×	×	×	×	×	×	×	
	PG-RD1026		×	×	×	×	×	×	×	×	
	PG-RD1027		×	×	×	×	×	×	×	×	
	PG-RD102D2		×	×	×	×	×	×	×	×	
LTO 装置	PG-LT203	LTO Ultrium2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	PGBLT203C		-	-	-	-	○	○	○	○	
	PG-LT302	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	
	PGBLT302C1		○	○	○	○	○	○	○	○	
	PG-LT303		○	○	○	○	○	○	○	○	
	PGBLT303C		○	○	○	○	○	○	○	○	
	PG-LT401	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	
	PGBLT401C		○	○	○	○	○	○	○	○	
	PG-LT402		○	○	○	○	○	○	○	○	
	PGBLT402C		○	○	○	○	○	○	○	○	
PG-LT501	LTO Ultrium5	○	○	○	○	○	○	○	○		
PGBLT501C		○	○	○	○	○	○	○	○		
DAT 装置	PG-DT601	DAT160	-	-	-	-	○	○	○	○	
	PG-DT602		○	○	○	○	○	○	○	○	
	PG-DT603		-	-	-	-	-	-	○	○	
	PG-DT501	DAT72	○	○	○	○	○	○	○	○	
	PG-DT504	DAT72	○	○	○	○	○	○	○	○	
	PG-DT5043		○	○	○	○	○	○	○	○	
	PG-DT5045		○	○	○	○	○	○	○	○	
	PG-DT5046		-	-	-	-	○	○	○	○	
	PG-DT5048		-	-	-	-	○	○	○	○	
	PG-DT5049		○	○	○	○	○	○	○	○	
PG-DT504D2	-		-	-	-	○	○	○	○		

凡例 ○ : 対応  
 × : 未対応  
 - : OS組合せなし

## Windows関連事項

## Windows Server OSの使用権について

- ・Windows Server® 2008/2008 R2およびWindows Server® 2003 R2のライセンスにはダウングレード権があります。旧バージョンのWindows Server OSを購入されたお客様は、ライセンス製品の購入時にSoftware Assuranceも併せて購入した場合、契約有効期間内であれば最新バージョンのWindows Server OSを使用する権利があります。
- ・Windows Server OSをダウングレードする場合は、同一エディション間でのみダウングレード可能となります。例えば、Windows Server® 2008 StandardをWindows Server® 2003 R2へダウングレードする場合は、Windows Server 2003® R2, Standard Editionへダウングレード可能です。(Windows Server® 2003, Standard Edition/Windows Server® 2000へも可能)
- ・Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition等Enterprise Editionへダウングレードすることはできません。
- ・ダウングレード権を行使する場合、お客様がダウングレードして使用するバージョンのメディアを所有している必要があります。(その際は、ボリュームライセンス用のメディアとボリュームライセンスキーか、パッケージ用のメディアとプロダクトキーをご使用ください。なお、他のPRIMERGYに添付されているメディアを使用し、再インストールする際にプロダクトキーは必要ありません。)
- ・Windows Server® 2008/2008R2は下位エディションを使用する権利を持ちます。(Datacenter>Enterprise>Standard)
- 例えば、Windows Server® 2008 R2 Enterpriseのライセンスを使用してWindows Server® 2008/2008 R2 Standard, Windows Server® 2003/2003 R2, Standard Edition, Windows Server 2003/2003 R2, Standard x64 Editionを使用することが可能です。

## Windows Server® 2008 R2プレインストールバンドルタイプのOSについて

- ※Windows Server® 2008 R2 Standardのライセンスを使用して、Windows Server® 2008 R2 Standardのほか、Windows Server® 2008 Standard (32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、Windows Server® 2003, Standard Edition、あるいはWindows Server® 2008 Standard (64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003, Standard x64 Editionをインストールすることができます。
- また、Windows Server® 2008 R2 Enterpriseのライセンスを使用して、Windows Server® 2008 R2 Enterpriseのほか、Windows Server® 2008 Enterprise(32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition、Windows Server® 2003, Enterprise Edition、あるいはWindows Server® 2008 Enterprise(64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition、Windows Server® 2003, Enterprise x64 Editionをインストールをする場合についても同様です。(下位エディションも使用可能)

- ※Windows Server® 2008 R2は64bit版のみとなります。

## Windows Server® 2008 プレインストールバンドルタイプのOSについて

- ※Windows Server® 2008 Standardのライセンスを使用してWindows Server® 2008 Standard (32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、Windows Server® 2003, Standard Edition、あるいはWindows Server® 2008 Standard (64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003, Standard x64 Editionをインストールすることができます。
- また、Windows Server® 2008 Enterpriseのライセンスを使用してWindows Server® 2008 Enterprise(32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition、Windows Server® 2003, Enterprise Edition、あるいはWindows Server® 2008 Enterprise(64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition、Windows Server® 2003, Enterprise x64 Editionをインストールをする場合についても同様です。(下位エディションも使用可能)

- ※Windows Server® 2008のライセンスを利用して、Windows Server® 2008 R2は使用できません。

- ※Windows Server® 2008は、標準で32bit版、64bit版メディアが2枚同梱されております。

## Windows Server® 2008/2008 R2、Windows Server® 2003 R2 x64 EditionのOSインストールについて

- ※ODDDライブを搭載していないサーバをご使用の場合は、Windows Server® 2008/2008 R2、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 EditionのOSをインストールするために、別途DVDドライブを購入する必要があります。

## Windows Server® 2003 R2へのダウングレードサービスについて

- ・本サービスは、Windows Server® 2008 R2やWindows Server® 2008に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2003 R2をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、お客様からのご要望を受けて富士通が代行するサービスです。

## ※Windows Server® 2003 R2へのダウングレードサービス付き製品

- (1)本製品には、Windows Server® 2008 R2またはWindows Server® 2008 (32-bit、64-bit)のOS媒体に加え、Windows Server® 2003 R2 (32-bit、64-bit)のOS媒体も同梱されます。さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2003 R2 (32-bit)のインストール作業を代行します。
- (2)製品貼り付けのCOAシール(Product Keyが記載されているシール)は、Windows Server® 2008 R2またはWindows Server® 2008用となります。Windows Server® 2003 R2には使えません。CAL(クライアントアクセスライセンス)等は、Windows Server® 2003 R2 (32-bit、64-bit)でも使用することができます。
- (3)本製品添付のOS媒体を使用し、ServerView Installation Manager/ServerStart(セットアップ支援ツール)にてインストールする場合、Product Keyの入力は不要です。入力領域が2回表示されますが、2回とも何も入力せずに次へと進んでください。また、本製品添付のOS媒体を使用し、再インストールする場合、Product Keyは要求されません。
- (4)本製品にはWindows Server® 2008 R2またはWindows Server® 2008のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2003 R2から切り替える使用が可能です。ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2008 R2またはWindows Server® 2008の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

## Windows Server® 2008へのダウングレードサービスについて

- ・本サービスは、Windows Server® 2008 R2に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2008をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、お客様からのご要望を受けて富士通が代行するサービスです。

## ※Windows Server® 2008へのダウングレードサービス付き製品

- (1)本製品には、Windows Server® 2008 R2のOS媒体に加え、Windows Server® 2008 (32-bit、64-bit)のOS媒体も同梱されます。さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2008 (32-bit)のインストール作業を代行します。
- (2)製品貼り付けのCOAシール(Product Keyが記載されているシール)は、Windows Server® 2008 R2用となります。Windows Server® 2008には使えません。CAL(クライアントアクセスライセンス)等は、Windows Server® 2008 (32-bit、64-bit)でも使用することができます。
- (3)本製品添付のOS媒体を使用し、ServerView Installation Manager/ServerStart(セットアップ支援ツール)にてインストールする場合、Product Keyの入力は不要です。入力領域が2回表示されますが、2回とも何も入力せずに次へと進んでください。また、本製品添付のOS媒体を使用し、再インストールする場合、Product Keyは要求されません。
- (4)本製品にはWindows Server® 2008 R2のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2008から切り替える使用が可能です。ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2008 R2の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

## Linux関連事項

## Linuxインストール代行サービスバンドルタイプについて

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプでは、Linux OSをお客様に代わってインストールするサービス [インストール代行サービス] をPRIMERGYにバンドルして出荷いたします。

## Linuxサポートバンドルタイプについて

Linuxサポートバンドルタイプでは、Linux OSをPRIMERGYにバンドルし、さらに1年間のソフトサポート (月曜日～金曜日 8時30分～19時(祝日および12月30日～1月3日を除く))が付いています。  
ハード含めたサポートや2年目以降のサポートをご要望の際は、別途SupportDesk契約(パック含み)をお願いいたします。

## Linux OSの利用権について

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプでは、以下の範囲内でRed Hat Enterprise Linux のバージョンやアーキテクチャ [x86/EM64T(Intel64)]を変更することができます。  
対象機種のサポートOSの範囲内であれば、Linuxインストール代行サービスバンドルタイプに標準添付しているRed Hat Networkのサブスクリプションを利用して、インストールに必要なソフトウェアをダウンロードして利用することができます。  
この場合再インストールが必要とはなりますが、変更後のOSにおいても標準添付のLinuxサポートや、SupportDeskパック (有償) のご利用が可能です。

## Red Hat Enterprise Linux ESグループ

Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)  
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)  
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)  
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)

## Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ブロックデバイスの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ブロックデバイスの使用可能最大サイズが以下のようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ブロックデバイスの使用可能最大サイズ
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	12GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	12GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	16GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	192GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	256GB	8TB未満 ※1

※1 システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用ください。

## ディスクレスタイプのサポートについて

ディスクレスタイプにおけるLinux関連情報については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/>)を参照下さい。

また、サポートを必要とされるお客様につきましては、サービス一覧の「保守サービスSupportDesk (Linux/OSS)」を参照ください。

サポート対象ディストリビューション(※)

- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)

※サポートディストリビューションは、本体装置により異なります。

## Linuxのサポート版数について

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプのインストール版数、および弊社PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)を参照下さい。

各OSの仮想化機能について

当社サポート可能なゲストOSと各OSの組合せは下表の通りです。※各サーバにて使用可能なOSはサーバ本体のサポートOSに準じます

ゲストOS	管理OS	Windows Server® 2008 Standard (64-bit)/Enterprise (64-bit)/ Datacenter (64-bit) Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit)/Enterprise (64-bit)/ Datacenter (64-bit)	RedHat Enterprise Linux 5 *10					VMware *7	
		Hyper-V*9	Xen					VMware® Infrastructure 3	VMware vSphere™ 4
			5.0	5.1	5.2	5.3	5.4		
Windows	Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit)	SPなし*1	×					○	○
	Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64-bit)	SPなし*1	×					○	○
	Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit)	SPなし*1*2	×					○	○
	Windows Server® 2008 R2 Foundation (64-bit)	×	×					×	×
	Windows Server® 2008 Standard (32-bit/64-bit)	SPなし/SP2*1	×					SPなし/SP2	SPなし/SP2
	Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit/64-bit)	SPなし/SP2*1	×					SPなし/SP2	SPなし/SP2
	Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	SPなし/SP2*1*2	×					SPなし/SP2	SPなし/SP2
	Windows Server® 2008 Foundation (64-bit)	×	×					×	×
	Windows® Web Server 2008 R2 (64-bit)	×	×					×	×
	Windows® Web Server 2008 (32-bit/64-bit)	×	×					×	×
	Windows Server® 2008 HPC Edition (32-bit)	×	×					×	×
	Windows Server® 2003 R2, Standard Edition/ Standard x64 Edition	SP2*3	×					SPなし/SP2	SPなし/SP2
	Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	SP2*3	×					SPなし/SP2	SPなし/SP2
	Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	SP2*2*3	×					×	×
	Windows Server® 2003 Standard Edition/ Standard x64 Edition	SP2*3	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	Windows Server® 2003 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	SP2*3	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	Windows Server® 2003 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	SP2*2*3	×					×	×
	Windows Server® 2003 Web Edition (32-bit)	×	×					×	×
	Windows Server® 2000 Server/ Advanced Server	SP4*4	×					SP3/SP4*8	SP3/SP4*8
	Windows Server® NT 4.0 Server	×	×					SP6a	SP6a
	Windows® 7 Home Premium	×	×					○	○
	Windows® 7 Professional	SPなし*1	×					○	○
	Windows® 7 Enterprise	SPなし*1	×					○	○
	Windows® 7 Ultimate	SPなし*1	×					○	○
	Windows Vista® Home Basic (32/64bit)	×	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	Windows Vista® Home Premium (32/64bit)	×	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
Windows Vista® Business (32/64bit)	SP1*3	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2	
Windows Vista® Enterprise (32/64bit)	SP1*3	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2	
Windows Vista® Ultimate (32/64bit)	SP1*3	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2	
Windows® XP Professional x64 Edition	SP2*3	×					SP2	SP2	
Windows® XP Professional	SP2*4/SP3*3	×					SP1/SP2/SP3	SP1/SP2/SP3	
Linux	RedHat Enterprise Linux 5 (for x86/ for Intel64)	×	5.0	~5.1	~5.2	~5.3	~5.4	○	○
	RedHat Enterprise Linux ES (v.4 for x86/ v.4 for EM64T)	×	4.5	4.6~			4.7~	4.3~	
	RedHat Enterprise Linux AS (v.4 for x86/ v.4 for EM64T)	×	4.5	4.6~			4.7~	4.3~	
	RedHat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)	×	×					○	×

※○:サポート対象(記載のSP/版数内でのサポートとなります)、×:サポート対象外を示す。

\*1) 1,2,4CPUで動作可能となります。  
 \*2) RX100 S6/TX100 S1/TX120 S2/TX150 S7においてはサポート対象外  
 \*3) 1,2CPUで動作可能となります。  
 \*4) 1CPUで動作可能となります。  
 \*5) SP2の対応状況については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/os/wins2008/hv/>)を参照下さい。  
 \*6) SP2の対応状況については、弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/guide/windows/win32/virtuallsystem/0r8b0100/>)を参照下さい。  
 \*7) VMwareでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、VMwareの製品情報を確認してください。  
 弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>)  
 \*8) Windows Server® 2000 Advanced Serverを除く。  
 \*9) Microsoft社のHyper-VでサポートしているゲストOSについての最新情報は、Microsoft社の情報を確認してください。  
 Microsoft社HP(<http://www.microsoft.com/japan/windowsserver2008/r2/technologies/hyperv-guest-os.msp>)  
 \*10) 管理OS版数に5.4以降を使用する場合は、Intel64を使用下さい。

